

令和8年1月14日実施

名古屋市立大学大学院医学研究科博士課程入学試験(2回目)

医学・生物学一般問題(問題用紙1枚、解答用紙2枚)

以下の問題1～問題4のうち、二つの問題を選択して解答しなさい。一つの問題につき、1枚の解答用紙を使用しなさい。紙面不足の場合は解答用紙の裏面を使用してもよい。

<問題1>

マイクロRNAについて知るところを述べなさい。

<問題2>

医療以外の社会的・経済的要因が健康に大きく影響を与えることが知られている。

健康の社会的決定要因(SDH)の概念を説明し、健康格差の是正における社会的処方¹の役割と、その実践における課題について論じなさい。

<問題3>

自律神経とは何か。またその種類と機能について述べよ。

<問題4>

ある遺伝性疾患が常染色体潜性遺伝(劣性遺伝)形式をとります。

両親がともにキャリアである場合：

- a) 子どもが疾患を発症する確率を計算してください
- b) 兄が既に発症している場合、次の子どもが発症する確率は変化するでしょうか？
- c) 一般的に、なぜ重症の遺伝性疾患は優性遺伝よりも劣性遺伝形式をとることが多いのでしょうか？ 進化的な観点から考察してください